

令和5年度

第1回

越谷市立図書館協議会

《会議録》

日	時	令和5年5月9日(火)
		午後3時00分～4時30分
会	場	市立図書館 2階 視聴覚ホール

令和5年度第1回越谷市立図書館協議会 会議録

1 開催日時 令和5年5月9日（火）午後3時00分～4時30分

2 開催会場 市立図書館 2階 視聴覚ホール

3 出席者

(1) 委員

岩元久徳議長、飯島孝子副議長、高木千晶委員、櫻井亜莉沙委員、
石塚貴久委員、秋元洋子委員、崩口欣美委員、佐々木直委員、
齋藤るみ委員、長谷川美樹委員、高田哲朗委員、正岡美樹委員

(2) 事務局

茂木図書館長、中野副館長、立澤主幹、松井主任

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴者 2名

6 内容 以下のとおり

<議事要旨>

- 1 開 会
- 2 議 事

* 越谷市立図書館協議会運営規則第1条第3項の規定により、議長は協議会の会議を主宰する。

2) 報 告 事 項

(1) 令和5年度事業計画について

- (事務局) 令和5年度事業計画について報告。
- (議 長) ただいま、事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。
- (議 長) 特にご意見がないようでしたら次の議事に移ります。

(2) 令和5年度予算について

- (事務局) 令和5年度予算について報告。
- (議 長) ただいま、事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。
- (委 員) 図書整備事業についてですが、図書購入費というのは図書館で一番大事なところだと思います。昨今の物価の上昇で本代が上がっている中で、予算額が現状維持となると予算が減っているように思われますが増やせなかったのですか。
- (事務局) 多く要望はさせていただきたいというところで市の財政部門と折衝はしましたが、市の予算が大変厳しいということで、例年通りの予算を確保したという状況となっております。ご理解いただければと思います。
- (委 員) 令和5年度の越谷市教育行政重点施策の図書館サービスの説明の中に移動図書館の更新とありますが、移動図書館車の予算はどこに入っていますか。
- (事務局) 移動図書館車につきましては、特別な車なので発注から納品までを1年間で行うのは難しいため、2年間で行う予定です。令和5年度中お金は動かさず、契約や事務手続きなど1年間で進めまして発注をし、請け負ってくれる業者を決め、令和6年度中に移動図書館車を納品してもらう2年度間の債務負担行為という方法で取り組む予定となっております。そのため、令和5年度は移動図書館車についてお金は動かないので予算の中には移動図書館車分は入っておりません。
- ただ、公表している越谷市の予算書には前半部分のページに市の債務負担行為の予定表があり、そこには移動図書館車の予算が記載されています。予算としては、400万円ほど確保しているところです。
- (委 員) そうしますと2,400万円は来年の予算で記載されるということですか。

か。

(事務局)

そうです。令和6年度の予算書には、移動図書館車の購入費、更新など名目はまだ決まっておりませんが、基本的には2,400万円の金額が予算として記載される予定です。

(議長)

他にご意見がないようでしたら次の議事に移ります。

(3) 南部図書室の移転について

(事務局)

南部図書室の移転について報告。

(議長)

現在のところ進展なしということですね。

(事務局)

市長から公表されていないので来年からどうするか、どのように進むかなど細かいお話ができない状況になりますのでご理解賜りたいと存じます。

(議長)

それでは、次の議事に移ります。

(4) 令和5年度越谷市教育行政重点施策について

(事務局)

令和5年度越谷市教育行政重点施策について報告。

(議長)

ただいま、事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。

(委員)

子ども読書活動推進の中で夏休みの宿題対応を去年もされていると思いますがその中の読書感想文について、小学校、中学校、高校含め、夏休みの宿題の必須課題となっているのでしょうか。読書感想文について、話題の「chatGPT」を使えばコンピューターが作ってくれる時代です。それよりもっと深いところで宿題を要求する、例えばビブリオバトルを前提とした「おすすめしたい本」の紹介にすれば、それについて深く読まない質問されても答えられないという状態になってしまうかと思いますがそこについて教育現場でいかがでしょうか。

(委員)

読書感想文指導を18年くらいやっておりますが、私は現在夏休み中に書いてくるような指導はしていません。読書をする、メモを書く、付箋を貼る、書くのは夏休み明けの1時間で1人2枚ほど、本を持参し、メモを見て1時間以内に書き上げることを課題としています。以前は書き写しの問題が多く、何かを見ながら読んでもない本の感想を書いてくるが多かったので、6年ほど前から、きちんと本を用意する、目の前

で書かせるという指導を行っています。読書感想文は全国図書館協議会、毎日新聞社を主催とし、考える読書というものをキャッチコピーにして行っており、考えて読書をしないと書けないものです。それを促すような指導を夏休み前から行い、授業の一環として評価もしています。

そういう成果もあって本校、私の指導した生徒で今まで6年間のうち5年間は全国に行っており受賞は4名、4度受賞しております。受賞をしていない作品に関しても、考える読書をするように促すことになり読書活動の推進に寄与していると現場にいる者としては思っております。

詳しくは学校図書館5月号に私の記事が載っておりますので読んでいただければと思います。

(事務局)

昨年度、宿題を応援するという事で読書感想文の書き方講座を開催していますが、元教師の方に来ていただき、読んでただ書くのではなく、先ほど先生がおっしゃられていたとおり、どこがポイントかまず紙に書き出し、それを組み合わせて自分が推したいところが書けるようにという準備の部分を応援しているだけであって、ただ書かせるという講座ではありません。あくまでも本を読み、自分がどの部分が一番感動したかなど紙に書き出し、それを組み立てていくと文章にきちんとできる、というところから入っていますので、ただ単に本を書き出し写すというような講座ではなく、ちゃんと考え、準備しないと書けないものだという講座になっております。

(議長)

先生がおっしゃった指導法というのは先生独自ではなく、例えば市内などで統一されていますか。

(委員)

市内統一はされていません。公表はしています。雑誌への掲載や、全国では関東や県でも発表はしていますが、なかなか。

(議長)

学校や先生によって課題の出し方もまちまちであるというのが現状だということですね。

(委員)

そうですね。越谷市の児童生徒の作品は毎年高い評価を得ていまして、昨年度も2名全国で受賞、その前は4名受賞しております。

(委員)

ありがとうございます。

(議長)

小学校はどうですか。

(委員)

小学校では国語科としてはちょっと難しいので担任に任されているところではありますが、おっしゃっていたようなビブリオバトルに繋がる

ようなものは国語の学習の中で行い、夏休みは青少年読書感想文コンクールに向けて宿題として出されるのは一般化されていますが、まず自分の気持ちを書く、自分の推しポイントを書いていくというところに重きをおいて小学校は指導しています。それが中学校に繋がり、論理的に書いていくというところに繋がるのかなと思います。

(議 長) 他にご意見がないようでしたら次の議事に移ります。

(5) 第3期越谷市教育振興基本計画・子ども読書活動の推進に係る取り組みの進捗状況について

(事務局) 第3期越谷市教育振興基本計画・子ども読書活動の推進に係る取り組みの進捗状況について報告。

(議 長) ただいま、事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。

(委 員) 先ほど館長から南部図書室の件についてまだ実際には動いてないということですが、この手のものというのは後手後手にまわり、出来てからああすればよかった、こうすればよかったというのがよくある話だと思います。実際私は地域柄、普段は南部図書室を利用していませんが、元々ないところに図書室ができて、実際、利用者も多いようですし、うまくやらないとつまらないものになってしまうなど。越谷の駅前の中央図書室くらいの規模のものになるのかなという予感もありますし、然るべきところで十分な議論がされてから進んでほしいなと思います。12月の議会の定例会の中でその質問が出た際の市長の答えが、収益性を追求する方がよいという考え方に変わりがないという回答一文だけを見てしまうと、図書館は収益性というのとは本来違う目的があるものなので、その考えでいくと切り捨てられてしまう可能性があるのかなと。この協議会として、何か提言ができるのかどうか私は分かりませんが、もうこれは結論が出ています、とはなってほしくないというのが個人的な思いです。

(事務局) それにつきましては南越谷にぎわい推進室と市長を含めて、基本的に今のコミュニティセンターのコンセプトを大きく変えるものではないというお話で今と同規模の図書室をそのままコミュニティセンターのほうに維持するという形でお話は進んでおります。

(委員)

それはベースにあるわけですね。

(事務局)

はい。ホールと図書室は確実に公共の施設側に残すのか、今はイオン側にあり、商業棟に移すのかはまた別の議論になってしまいますが、基本的にホールと図書室は今のまま維持するというお話で今は進めております。その点が基本的に無くなるということではなく、あくまでも一時的に建物が無くなってしまいますのでそうすると本の行き場がないので一時的ということを考えさせていただいて、そのあとまたコミュニティセンターができた場合につきましては、ホールと図書室がそのまま今と同じように利用できるような環境を整えるということで今も進めています。ただ、そこがどの規模になるか、今よりも大きくするのか小さくするのか、どんな形で構成ができるのかというところはまだお話をさせていただいてる途中ですので、深いところはお話できませんが、基本的には図書室は残ると考えていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

(委員)

それを伺えただけでも大丈夫です。今の場所はおそらく借り手がないからあれだけ広い場所を利用できるのではないかという思いもありますので、その予定のことで申し上げましたが今のお話を伺ってちょっと安心しました。見守らせていただきます。以上でございます。

(委員)

すみません。訂正させてください。私、埼玉県为学校図書委員会に所属しておりまして、先ほど越谷市の成績を述べましたが、全国受賞については県の実績でした。越谷市は県のほうでの受賞が多いということで訂正いたします。

(議長)

他にご意見等ないようでしたら次の議事に移ります。

3) 協議事項

(1) 令和5年度先進図書館視察候補地の検討について

(事務局)

令和5年度先進図書館視察候補地の検討について、資料16ページ～21ページに基づき提案。

(議長)

それでは、提案がたくさんあるので事務局案の提案理由をご説明していただけますか。

(事務局)

はい。まず所沢市について、昨年度は所沢市に伺う予定で準備していましたが、コロナの関係で視察が中止となりました。所沢市は市の人口や、本館が直営、図書室が指定管理といった管理運営形態が越谷市と似てい

るところがある一方で、所沢市はコンビニで予約本の受付など新しい取り組みもしているということで、所沢市に学び、勉強できる部分があるかなということで提案させていただきました。

2つ目の茂木はいわゆる複合施設になっております。少し話が逸れますが、地元の杉の木材を使った木の香りのするスロープや複合施設でカフェや資料展示室があり、相乗効果や他の部分との協働など、今後、南部図書室が新しい施設内にできる際、参考になるのではないかと、茂木町を提案させていただきました。

3つめの北茨城市については、カフェもありますが、基本的には図書施設がメインとなります。大きさが南部図書室に近く、図書館自体が丸みを帯びた曲線のデザイン性や、子ども関係の書籍も充実しているなど、新しい南部図書室の部屋の作りなど、参考になるのではないかと選びました。あとは、時間も限られていますので行ける範囲で距離も参考にしました。茂木町と北茨城市どちらも7～8年以内にできたばかりで、新しく、勉強になるかなと思い3つの案を提案させていただきました。以上となります。

(議長)

私も4ヵ所提案させていただきましたが、どんな視点で見るのか、建物、環境、複合施設を見るのか、同規模の市、同じ蔵書数を持っている図書館を見るのか、色々な視点があると思います。

図書館として越谷市が一人当たりの貸出数を増やそうとしていて、それが目標としてあるから同じ県内の三芳町や杉戸町かなと思いました。ここでは市や町で独自で取り組み、こぞって図書館文庫を盛り上げ、図書館を町の憩いの場としていこうという動きもあるのかなと思い提案した次第です。

(委員)

そもそも論として何を目的で選ぶかで決まってくるかと思いますが、まず越谷市の図書館に見学に来られた市町村はありますか。

(事務局)

今までないです。

(委員)

越谷市の図書館に何が足りないのか、その足りないところが分かれば参考にできる図書館に視察に行けばいいのではと思いますが。

(議長)

何が目標、何が指標としてあるのか。一人当たりの蔵書数を増やす。一人当たりの貸出数を増やす。それが大体図書館の指標としてあるみたいですね。毎年出ている埼玉県図書館一覧表では、越谷市は中間ぐらい

ですが、杉戸町や三芳町はトップレベルですよ。

(委員) 越谷市は新しい試みをやっているわけでもないというところだと思いますが。

(議長) 私はこの中で文京区の図書館に頻繁に行っていますが、文京区では必ずアンケートを行っています。図書館にどういう蔵書を希望するか、本の配置や雰囲気はどうかなど、毎年必ずアンケートを行っています。

新しく改修する際や、今ある公園と一体になって作り変える際に意見を聞くなどアンケートを行っています。その後、アンケートを整合し、どの要望が何%かなど公開していますが、越谷市ではアンケートを行い、意見を求めたことはありませんか。

(事務局) 図書館全体ではないですが、電子図書館を始めた中では、本の種類など制限がかかっているの、そこは選書にあたりどのくらい利用しているか、どんな本が欲しいかというアンケートを行っています。それ以外にも来館して本がない場合は、リクエストカードを提出していただき、越谷市の図書館になれば相互貸借という形で県内の図書館にあれば貸出しています。借りられなければ買う方向で検討するという形で市民の意見は吸い上げています。ただ、施設改修に関してはないのでアンケートはしていません。その時々によって、今、何を必要とするかなど、本の蔵書に関してのリクエストは日々いただいていますので一切やってないというわけではありませんが、施設改修や読書活動に対してのアンケートは、ここ最近行えていないというのが実情です。その点につきましては考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(議長) それでは皆さんから意見を出していただき、第一候補、第二候補を決めて事務局に預けたいと思います。過去の視察一覧を見ると、できたのが新しいところや歴史のあるところなど色々な図書館に行っていますね。

(委員) ご提案いただいた視察候補地についてどういったところか自分で調べてみたところ、それぞれ特色があり、先ほどおっしゃったように様々な良いところがありますが、その中でも一番行きたいなと思ったのは大和市で、次が茂木町です。

大和市は有料のラウンジがあり、会社員の人達がそこで仕事ができるようにコンセントが完備されているなど特色があるなど。

茂木町についても、保育士さんが常駐しており、子どもが室内でも遊ぶ

ことができる場所があり、他にも、杉材を使った建物というのにも興味があります。色々複合され、どう組み合わせられているのか気になりました。また、施設、建物内であれば図書館で借りた本をどこでも読むことができるというところが、そういった本屋さんがあっても図書館ではあまりないなど。その部分に興味を持ち行って見てみたいと思ったので複合施設というのをキーワードに、この2カ所に行きたいと感じました。

(委員)

前回はこの議論は大分盛り上がりましたが、他の委員からもあったように、この視察の目的を何にするかが重要だと思います。例えば目的が南部図書室を建て替えるときに、協議会としてこのような意見が出たと提出できるのであればそれも一つの目的かなと。ただ意見を出せないのであればサービスや運営、去年の夏頃にでた、指定管理制度に絡んだ今のあり方がいいのかどうかというような話もありましたが、その部分を目的とするのか。その辺の整理をしていかないとただの社会科見学になってしまうので、協議会として視察する目的、意義を確認した上でその候補を挙げ、決めていくのがいいのではないかとというのが個人的な思いでございます。

(委員)

私も大和市に興味があります。その理由は、市をあげて図書館をアピールしているところです。どの自治体も財政難だと思いますが、その中で一番削られるのは図書館ではないかと思います。しかし、大和市では市をあげて応援しているので、どのように運営しているか見てみたいと思いました。茂木町についても建物が素敵でどんな感じなのかな、見てみたいなと思いました。

(委員)

質問ですが、ここでの視察は実際、南部図書室のリニューアルの関係で意見等出せるのかどうか、その辺はどうなんですかね。それがあかないかで話の進み方も違ってくるかと思うのですが。

(事務局)

はい。今コミュニティセンター自体はPFIという形で事業者提案をしていただくというふうになっておりますので、こちらの希望を最大限活かしてもらおうというお話にはならないというのが実際のところだと思います。いくつかの事業者がコンセプトを考えてきて提案され、その中からこちらが選ぶというやり方で、その選ぶときの参考として協議会としての意見を持っていくことは出来るかと思っています。ただ、先ほど言わせていただいた通りこんな部屋にしてほしいというのはこちらから全て要望

が出せるような状況ではないところだけ考えていただければと思います。ただ、出てきた提案の中でどれが一番良いのか、協議会としてはこんなコンセプトがいいなど、意見があればそれを参考にしながら選択することにはなるかと思いますが、その辺りは参考にする価値はあるかと思っております。以上になります。

(議長) ありがとうございます。協議会として視察して新しい図書室に対する参考意見が出せるということですね。

 因みにPFIの事業者はもう何社か出ているのですか。

(事務局) いいえ、これからです。先ほどお話しさせていただいた通り、市長が1年先延ばしにするということで今は止まっていますので、実際にはどういった方法で要望を出すか、細かいところはお話できない状態で、PFIで行こうという話にはなっていますが、まだ募集をかけていないので、細かいお話ができない状態です。ただ、止めてはいますが、基本的には今のところPFIの方式で行こうとなっています。

(委員) 協議会として、意見をまとめて出すことに意義があると思います。

 実るかどうかはまた別の話ですが、それも目的のひとつで、プラス運用部分を目的とするというのがあると思います。

(委員) 私は個人的には茂木町を拝見したいですが、規模とかも考えて選びたいかなと思います。

(委員) 私も規模があまり違うのはどうかなってというのはありますが、以前、コミュニティセンターの建て替えの例として池袋の西口公園のZoomを見せていただき、その際色々な意見が出ましたが、あまり関係なかったのかなと。

(事務局) すみません。南越谷にぎわい推進室の話になってしまっていますが、ホールは絶対必要だとか図書室は失くしてほしくないとかそういう意見は集約してあがってきた中でその2つは確実に残すという話になっていますので、全然意味がなかったわけでもないと思います。

(委員) くつろぎスペースのようなものが真ん中にあり、その周りに図書館が設置され、緑を見ながら本が読めるような場所が欲しいという意見も出ましたが、難しいのかなと。

 私は、南部図書室が近いのでよく利用していますが、コロナの前は、高校生が図書室の外のスペースでパンなど食べながら勉強半分、おしゃ

べり半分というふうにごろしている様子を見かけました。静かに本を読む空間とは別に、ちょっとしたコミュニケーションがとれ、くつろげるようなスペースも併設してほしいということもその時お伝えしました。建て替えた後も利用したいと思うので、居心地の良い場所であってほしいという思いもあり、そういった空間など参考にできる茂木町がいいと思います。

(議長) ありがとうございます。今の意見についても協議会の意見として提案していきたいと思います。

(委員) 皆さんがおっしゃったように、この視察は委員のための視察ではなく図書館をいかに良くするかだと思いますので、市立図書館がどういうふうを考えて何を目的としているのか重要ではないかと思います。

先程もお話がありましたように南部図書室の新築ですかね、複合施設としての設置を目的にしているのであれば複合施設のほうへ視察に行くべきですし、本館の機能を充実させる目的であれば本館の単館として設置されているところに視察しに行くべきかと思います。

(副議長) 南部図書室は施設の中に図書室がそのまま残ると聞き嬉しく思っております。今、建て替え等も1年延ばしたりしてますけどまだ延びるような気がしますし、なかなか話がまとまらないのではないかとと思います。

先ほどの蒲生学園についても全然煮詰まってませんし、今越谷を右往左往してるところじゃないでしょうか。その中でも、今の南部図書室と同じ広さでなくても、きちっとしたものを残していただきたいなと思います。そのためにどこに行くかは視察に行ったことがないので、皆さんとご一緒に視察に行き、勉強したいなと思っております。

今でしたら、できれば茂木町に行ってみたいなと思います。

(委員) 事務局にお伺いしたいのですが、候補地には受け入れについて連絡していますか。

(事務局) 協議会での話合いの結果によってとなりますので、まだ連絡はとっておりません。

(委員) 先ほど2つ選ぶとおっしゃいましたが、2つとも断られる可能性もあるということですね。

(事務局) 第一候補、第二候補とご提案していただいても断られる可能性もあります。その際は、事務局案も含め、最後は事務局の方で決めさせていただきます。

きます。全ての施設に断られてしまった場合は他に提案させていただいて次回の会議の時に報告させていただきます。

(議 長)

ありがとうございます。ではそろそろ終息に向けて話を進めたいと思います。南部図書室の話が盛んですが、もし意見が出せるのであれば出しますが、必ずしも通るわけではないということですね。

視察については同じ規模で同じようなところで新しく作り変えるには何がいいかということだけでなく、今ある図書館をできるだけ少しでも改善していく、というのもあると思いますので両方の視点から2つ選びたいと思います。多数決を取ると、茂木町と大和市が皆さんのご意見ですが事務局で、茂木町と去年ずっと準備してきた所沢市まで候補としてあるので話が進みやすいところでもあると思うのですが、他にまだご意見としてあれば。

それでは7つの候補を読み上げます。文京区立図書館、杉戸町立図書館、三芳町立図書館、大和市立図書館、所沢市立図書館、ふみの森もてぎ図書館、北茨城市立図書館。7つ挙がっていますが、文京区、杉戸町、三芳町この辺はいいですか。

(委 員)

言いたいことは皆伝わったと思いますので、あとは事務局で結論を出していただくということで。

(議 長)

それでは協議会のここまでの意見として、茂木町と大和市を推薦いたします。事務局の方で準備よろしくをお願いします。

(事務局)

2つご提案いただきましたので、この2つについて事務局の方でこの後、確認・調整等させていただきます。

市で所有しているバスの予約が、10月6日金曜日となりますので、第2回図書館協議会開催が8月1日火曜日に調整結果について報告したいと思います。よろしくお願ひいたします。

(議 長)

それでは、これで協議会を終了とさせていただきます。委員の皆様のご協力を賜り、本日予定していた議事を無事に終了することができました。ご協力ありがとうございました。以上で議長の任を降ろさせていただきます事務局へお返しします。

4 閉 会